

平成23年

12月(11月繰上げ)定例会
一般質問通告書

一 般 質 問 順 序 表

日	質問順	氏 名 (質問時間)	頁
12/5 (月)	1	戸 島 義 子 (18分)	1
	2	吉 田 一 郎 (5分)	1
	3	傳 田 ひ ろ み (17分)	2
	4	阪 本 克 己 (20分)	3
	5	武 山 広 道 (15分)	4
	6	伊 藤 仕 (20分)	4
	7	谷 中 信 人 (20分)	5
12/6 (火)	8	島 崎 豊 (15分)	6
	9	加 川 義 光 (17分)	6
	10	野 呂 多 美 子 (18分)	7
	11	稲 川 晴 彦 (25分)	9
	12	神 坂 達 成 (20分)	10
	13	霜 田 紀 子 (30分)	11
12/7 (水)	14	加 藤 得 二 (30分)	12
	15	池 田 麻 里 (13分)	13
	16	小 柳 嘉 文 (17分)	14

1 番 戸 島 義 子 (1 8 分)

- 1 市民の要望を実現するために
 - (1) 国保税について
国保税の引き下げについて

国保広域化について
 - (2) 住宅リフォーム助成制度について
制度を創設することについて
 - (3) 保育行政について
認可保育所の増設について

保育所面積基準緩和について

安心こども基金について

子ども・子育て新システムについて
 - (4) 教育行政について
少人数学級の実施について

特別支援学級の増設について
 - (5) 市営住宅の増設について
長寿命化計画について

2 番 吉 田 一 郎 (5 分)

- 1 浦和の車には「浦和ナンバー」をについて
 - (1) 旧浦和市域を対象に「浦和ナンバー」を創設することは、制度的に可能か
 - (2) 可能ならば、実現に対する考え

2 「大阪都構想」が圧勝し特別自治市は破綻したのに、政令市の分割反対に固執する清水市長の考えについて

(1) 11月29日の記者会見における市長のコメントについて

(2) 4月の市議選の結果に対する見解について

3 スマートエネルギー特区について

(1) 特区申請が認められても市長がかわったら特区取り消しは可能かについて

3 番 傳 田 ひろみ (1 7 分)

1 障害のあるなしに関わらず、同じ場で共に学ぶ教育について

(1) さいたま市の現状は

通常学級で学ぶ障害を持つ小中学生それぞれの人数とその支援体制について

保護者の関わり方について

(2) 障害者基本法の改正について

教育委員会としての見解は

今後の特別支援教育のあり方について

(3) 学校バリアフリー化の進捗状況について

2 防災訓練及び避難所のあり方について

(1) 各区の防災訓練及び避難場所夜間運営訓練の実施状況及び課題について

(2) 福祉避難所について

さいたま市における福祉避難所とは

厚労省が出している福祉避難所についての設置・運営ガイドラインに則った福祉避難所は

今後の整備方針について

3 大宮区における学習支援プログラム事業について

- (1) プログラム利用者の高校進学状況は
- (2) 現在の利用者の状況は
- (3) 実施していない区への働きかけは
- (4) 今後の展開について

4 番 阪 本 克 己 (2 0 分)

1 友好都市 中国鄭州市を訪問して

- (1) 戦略的企業誘致について
- (2) 市長の考える環境先進都市とはどのようなものなのか
- (3) 海外姉妹・友好都市とのビジネス交流について

2 災害に強いまちづくりについて

- (1) 東日本大震災時のＪＲ東日本の対応は
- (2) 駅舎の防災対策について
- (3) 防災拠点について

3 区役所のあり方について

- (1) 区役所への権限・財源移譲について
- (2) 区長公選制の可能性について

4 共助と公助のまちづくりに向けて

- (1) 自治会に対する評価と支援の拡充について
- (2) 非営利団体支援に向けた取り組みについて

5番 武山広道(15分)

- 1 誰もが共に暮らすための障害者の権利の擁護等に関する条例について
 - (1) 高架ホーム・改札設置駅におけるエレベーター設置について
 - (2) 発達障がい支援体制と発達障害支援センター支援員の増員について
 - (3) 障がい者の日常生活用具支援について
- 2 災害対策について
 - (1) 市境道路整備について
 - (2) 社会保険大宮総合病院の存続について
- 3 子供の安全対策について
 - (1) 防犯システムの導入について
- 4 子宮頸がん予防ワクチン等接種事業について
 - (1) 子宮頸がん予防ワクチン等接種事業継続について

6番 伊藤 仕(20分)

- 1 宮原メディカルセンター跡地について
 - (1) 自主財源の確保の可能性について
 - (2) 今後の跡地利用について
- 2 社会保険大宮総合病院について
 - (1) 法改正に伴う本市の取り組み
- 3 地区体育振興会とスポーツ振興会について
 - (1) 地区体育振興会の移管の理由
 - (2) 近年の他政令市等の状況をふまえ、組織支援に対しての今後の方向性

4 さいたま市発の農産物ブランド化への取り組みについて

- (1) 取り組みの状況について
- (2) 今後の施策について

5 公園整備について

- (1) 公園整備の実績について
- (2) 今後の公園整備の考え方について

7 番 谷 中 信 人 (2 0 分)

1 地域防災計画の改定と災害時における的確な情報提供について

- (1) 災害弱者の視点に立った地域防災計画の改定について
- (2) 駅前情報掲示板の計画について
- (3) Web情報のモバイル対応について

2 避難所訓練及び避難所のあり方について

- (1) 今後の避難所訓練のあり方について
- (2) サバイバルカードの配布について
- (3) 要援護者への対応について

3 家庭における安全対策の促進について

- (1) 家庭の家具等、非構造物倒壊の危険性の認識と高齢者への家具転倒防止器具普及のための施策について

4 少子高齢化社会における住宅政策のあり方について

- (1) サービス付き高齢者向け住宅の位置づけについて
- (2) 空き家の有効利用について

5 浸水地域の雨水利用による治水対策について

- (1) 浸水災害マップ表記の浸水被害地域への対策について
- (2) 各家庭等への雨水貯留 / 浸透施設設置効果について
- (3) 環境整備として設置費用を助成することについて

8 番 島 崎 豊 (1 5 分)

- 1 文化芸術都市創造条例について
 - (1) 文化関連予算について
 - (2) 今後の見通しについて
- 2 住環境を守るための高度地区指定による建築物の高さ制限について
 - (1) 今年度の検討、高度地区指定案の現状と見通しについて
 - (2) 景観条例との整合性について
 - (3) 市民への PR の必要性について
- 3 市内の下水道整備について、特に側溝について
 - (1) 下水道整備の進捗状況、特に側溝の上部蓋の整備について
 - (2) 各区の整備状況はどうなっているか
 - (3) 衛生面・安全面からの側溝の問題について

9 番 加 川 義 光 (1 7 分)

- 1 原発、放射能汚染対策に関する市長の政治姿勢について
 - (1) 放射線量測定を強化するために、人員、機材（簡易型も含む）、場所などを抜本的に拡充することについて

- (2) 給食に使用する全食材の放射線量を測定することについて
 - (3) 各区役所で貸し出されている放射能測定機器を増やすことについて
 - (4) 「放射線量の高い箇所への対応方針」の判断基準について
 - (5) 脱原発に向けた都市部での自然エネルギーの活用について
- 2 副都心ウイングシティ構想に関する市長の政治姿勢について
- (1) 凍結や縮小も含めた見直しについて市長の見解を
 - (2) 福祉・教育の7%削減ではなく、大型開発を削減すべきと考えるが、市長の見解を
- 3 TPPについて
- (1) ISD条項（国際取引に関する条約に置かれる、各国政府を多国籍企業や投資家などが訴えることができるようにする制度）に対する市長の見解について
 - (2) TPP交渉参加は撤回するよう国に意見を上げるべきと考えるが、市長の見解を
- 4 消費税増税について
- 5 県立総合教育センターの跡地利用について

10番 野呂多美子（18分）

- 1 安心して暮らせる高齢期に向けて
- (1) 利用しやすい介護保険制度について
認定審査の迅速化
- 基幹となる地域包括支援センターを直営で
- 歩いていける範囲に「介護者サロン」を

小規模多機能型居宅介護施設の整備

- (2) ボランティア・ポイント制度の拡大
- (3) 老人福祉センター、老人憩いの家の活用
- (4) 元気に活動するための移動手手段の確保
- (5) A E Dの有効活用
- (6) 特定健康診査の項目に聴力診査を

2 公契約のあり方について

- (1) 地域中小企業が入札に参加しやすい方策について
- (2) 公共工事、委託業務を担う労働者の実態把握
- (3) 公契約条例について
総合評価入札制度の導入

条例制定に対する見解

3 観光を軸とした賑わいの創出に向けて

- (1) (仮称)岩槻人形会館について
地元4団体から出た要望書への対応と影響

建設計画とタイムスケジュール
- (2) 岩槻文化公園周辺を活用した自然体験スポット
元荒川を活用した川遊びの場と自然観察の場

ホタルも舞う水辺環境の整備

11番 稲川晴彦(25分)

- 1 住所、本籍及び不動産の表示に記載されている大字表記について
 - (1) さいたま市における、大字表記の世帯数及び世帯総数での比率、人口数及び人口総数での比率について
 - (2) 土地区画整理事業などによる、大字表記廃止の実態について
- 2 地方自治法第260条の字の名称変更手続きについて
 - (1) 大字表記の廃止に伴う事務手続きについて
 - (2) 住民基本台帳法施行令第12条の職権による住民票の記載について
 - (3) 不動産登記法第59条のみなし規定について
 - (4) 大字表記の廃止に伴う手続き不要の公簿名について(市役所及び法務局で書き換えるもの)
 - (5) 住基カード、国民健康保険証、自動車運転免許証等の変更手続きについて
- 3 さいたま市は政令指定都市にもかかわらず未だ住所などに大字表記が残っている。既に合併10年、大字表記を廃止すべきではないか
 - (1) 都市イメージ戦略と大字表記の住居表示について
 - (2) 住居表示における大字表記が残っていることに、政令指定都市イメージ戦略をどう捉えているのか
 - (3) 市民の住所に大字表記が残っていることの意識について
- 4 都市計画道路見直し事業について
 - (1) 長期未着手となっている都市計画道路の見直しのポイント及び見直し基準とこれまでの道路ネットワーク再構築の評価について
 - (2) 都市計画道路の整備率と今後の計画状況について(整備完了までのおおよその見込み年数は)
 - (3) 都市計画決定していない道路で整備を急ぐ部分はないのか

5 道路及び街路事業について

- (1) 都市計画道路と都市計画道路以外の道路及び生活道路整備事業のそれぞれの位置づけと整備方針について
- (2) 地域の主要幹線道路の道路整備全体における位置づけは明確になっているのか
- (3) 8 Mから12 Mまでの地域としての主要道路整備については、整備する考えがあるのか

6 暮らしの道路整備事業における寄附の要件と4 M以上の道路整備における整備条件の見直しについて

- (1) 4 M以上の道路整備については、暮らしの道路整備事業としての位置づけは可能か
- (2) 道路後退用地の寄附という手法以外に道路整備は考えられないのか

12番 神坂達成(20分)

1 自転車交通の総合安全対策について

- (1) 自転車交通の総合安全対策における世代別安全教育と啓発について
小学生への自転車免許の交付と、中高生への事故・運転者責任・交通違反に対する制裁事例による教育やスケアード・ストレイト教育技法の全校実施と、高齢者に対する安全教育と自転車に関する知識・技能の指導の実施について

小中高生へのTSマークや自転車任意保険加入啓発と、13歳未満へのヘルメット着用努力義務の啓発推進について

交通公園もしくはその機能を有する公園の設置と、子供たちや高齢者の集う屋内施設への自転車シュミレーター等の設置について

- (2) 自転車交通総合安全対策における自転車交通環境整備について
さいたま市都市交通行政における自転車交通体系の策定の必要性について、及び、部局横断的なプロジェクトチーム編成の必要性について

2 環境共生都市への戦略について

- (1) 「都市鉱山」レアメタルの有効活用について
- (2) 資源循環型産業等の誘致を視野に入れた、新成長戦略の策定について

3 住居表示について

- (1) 住居表示変更への本市の姿勢、及び住居表示実施への考え方と、その実施の条件について、また、住居表示審議会や住居表示実施計画の策定、及び庁内プロジェクトチームの立ち上げについて

4 学校施設の安全対策と機能強化について

- (1) 体育館や学校施設の非構造物に対する、耐震への現状と今後の予定について
- (2) 学校や公民館等のトイレのバリアフリー化への実情と対応、及び、学校施設におけるトイレ整備の状況と実施計画について

5 依存症対策について

- (1) ギャンブル依存症における早期発見と治療、及び、市民への普及啓発について

13番 霜田紀子(30分)

1 保健・福祉行政について

- (1) さいたま市立病院のあり方について
あり方検討委員会の審議状況について

市立病院の目指すべき方向性について

() セカンドオピニオンについて

() 血液内科について

() 終末期医療について

医療機能の充実と施設整備の考え方について

- (2) 母体・新生児搬送コーディネーター制度について
- (3) 食品の放射性物質の検査について
- 2 環境行政について
 - (1) 「第2回E-KIZUNAサミット・フォーラム in さいたま」について
開催の目的と本市の今後の事業展開について
- 3 まちづくり行政について
 - (1) 武蔵浦和地区のまちづくりについて
武蔵浦和地区における事業中の街区の進捗状況とこれからの予定について
- 4 教育行政について
 - (1) 優秀な教員の確保について
 - (2) 土曜チャレンジスクールについて
 - (3) 国際教育について

14番 加藤 得二(30分)

- 1 国家主権と地域主権について
 - (1) 国家の有する主権は
 - (2) 地域の有する主権は
- 2 下水道施設の改築更新について
 - (1) 合流区域・分流区域の対策は
 - (2) 鴻沼川西側・鈴谷地区周辺の対策は
- 3 中央区における道路整備の基本的な方針について
 - (1) 国道17号の整備状況及び今後の見通しは
 - (2) 本町通り線について

- 4 都市公園の整備状況について
 - (1) 今後の都市整備の方向性について
 - (2) 区比較による公園面積は
 - (3) 与野中央公園の整備状況について
- 5 旧クリーンセンター与野の解体撤去工事に関連して
 - (1) 環境に対する配慮及び跡地利用について
 - (2) ストックヤードの土壌汚染対策について
 - (3) エネルギー活用について
- 6 学校施設の整備について
 - (1) 老朽化の現状と今後の整備方針は
 - (2) 中学校の武道場の整備状況及び整備方針は
 - (3) 震災における教育施設の復旧状況について
- 7 合併協定書について
 - (1) どのような認識でどのような取り組みがなされているのか

15番 池田麻里(13分)

- 1 健全財政を維持するために
 - (1) 市債管理の考え方
 - (2) 予算の執行管理のあり方について
 - (3) 出資先団体の経営状況の把握について
 - (4) 公金管理とその運用

2 コミュニティバスについて

- (1) ガイドライン策定での議論の中身
- (2) 公共交通利用の意識啓発
- (3) 市民提案の状況と今後の支援、事業化の流れ
- (4) 交通不便地区以外のエリアについて

3 ワカモノ政策について

- (1) 子ども・若者支援ネットワークの設置予定
- (2) 中学、高校卒業時点での進路未定者の把握とその後の対応について

16番 小柳嘉文(17分)

1 稼ぐさいたま市づくりについて

- (1) 今後の財源確保の方針
今後の財源確保に向けての本市の考え方
- (2) 積極的経済振興策について
スポーツコミッションについて
 スポーツコミッションの位置づけ
 スポーツコミッションの目標
 スポーツコミッションの将来像

地域経済の振興策について
 地元企業との協力体制、育成について
 浦和駅高架化事業における取り組みについて

2 さいたま市の新しいまちづくりについて

- (1) 総合特区構想について
総合特区申請についての現状

本市申請内容の独自性

この特区構想の市民へのメリット

民間の力を活用したE Vの普及について

今後の予定について

(2) コンパクトなまちづくり政策を基調とした「持続可能なまちづくり」について

本市が考える「持続可能なまちづくり」とは

コンパクトシティ化に向けての施策

中心市街地の魅力創造について